

震災と文学～あの日から12年～

展示期間:令和5年1月21日～4月20日

東日本大震災が発生してから、今年で12年になります。震災の記憶を風化させず、今後に語り継ぐために、「東日本大震災」を描いた文学作品を集めて展示します。また、千葉県内の震災に関する郷土資料も展示します。あわせてご覧ください。

<文学論>

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
1	3・11の未来 日本・SF・創造力	笠井 潔監修	作品社	2011	9013/71
2	ポスト<3・11>小説論 遅い暴力に抗する人新世の思想	芳賀 浩一著	水声社	2018	9013/92
3	世界文学としての<震災後文学>	木村 朗子編著	明石書店	2021	90209/133
4	震災・原発文学論	川村 湊著	インパクト出版会	2013	91026/1365
5	震災後文学論 あたらしい日本文学のために	木村 朗子著	青土社	2013	91026/1411
6	文学に描かれた大震災 鎮魂と希求	鈴木 斌著	菁柿堂	2016	91026/1560
7	東日本大震災後文学論	限界研編	南雲堂	2017	91026/1595
8	その後の震災後文学論	木村 朗子著	青土社	2018	91026/1612
9	震災と文学講義録 東北学院大学地域共生推進機構連続講座	山折 哲雄ほか述	東北学院大学	2017	91026/1615
10	現代文学は「震災の傷」を癒やせるか 3・11の衝撃とメランコリー	千葉 一幹著	ミネルヴァ書房	2019	91026/1660

<短歌・俳句・川柳>

11	悲しみの海 東日本大震災詩歌集	谷川 健一編	富山房インターナショナル	2012	91116/207
12	平成大震災 歌集	秋葉四郎 編	いりの舎	2013	91116/219
13	3653日目 <塔短歌会・東北>震災詠の記録	塔短歌会・東北編	荒蝦夷	2021	91116/250
14	震災歌集	長谷川 櫂著	中央公論新社	2011	91116/ハカ1
15	東日本大震災を詠む	俳句四協会編	朝日新聞出版	2015	91136/589
16	語り継ぐいのちの俳句 3・11以後のまなざし	高野 ムツオ著	朔出版	2018	91136/607
17	白い戦場 震災句集	角川 春樹著	文學の森	2011	91136/カハ15
18	花修 曾根毅句集	曾根 毅著	深夜叢書社	2015	91136/ソツ1
19	震災句集	長谷川 櫂著	中央公論新社	2012	91136/ハカ11
20	震災歌集 震災句集	長谷川 櫂著	青磁社	2017	91136/ハカ18

21	大震災を詠む川柳 101人それぞれの3・11	川柳宮城野社編	河北新報出版センター	2011	91146/41
----	------------------------	---------	------------	------	----------

<詩>

22	未(イマ)来タル 詩の礫十年記	和合 亮一著	徳間書店	2021	9115/145
23	詩と思想詩人集 2011年	詩と思想編集委員会著	土曜美術社出版販売	2011	91156/17
24	ことばのポトラック	大竹 昭子編	春風社	2012	91156/78
25	希望の木	新井 満著	大和出版	2011	91156/アマ1
26	花の冠	大越 桂著	朝日新聞出版	2012	91156/オカ6
27	背中の地図 金時鐘詩集	金 時鐘著	河出書房新社	2018	91156/キン11/2
28	海をうらまない 震災ポエム	佐藤 啓子著	合同出版	2011	91156/サケ4
29	あなたが最期の最期まで生きようと、むき出しで立ち向かったから	須藤 洋平著	河出書房新社	2011	91156/スヨ2
30	真っ赤な傘突き刺して	須藤 洋平著	思潮社	2015	91156/スヨ3
31	海へ	高橋 順子著	書肆山田	2014	91156/タシ58
32	白骨を生きる	原 満三寿著	深夜叢書社	2014	91156/ハマ7
33	春の先の春へ 震災への鎮魂歌 ※朗読CD付き	宮澤 賢治著	左右社	2012	91156/ミケ10
34	あすという日が	山本 瓊子著	アスコム	2011	91156/ヤヨ4
35	詩の邂逅	和合 亮一著	朝日新聞出版	2011	91156/ワリ5
36	詩の礫	和合 亮一著	徳間書店	2011	91156/ワリ6
37	詩ノ黙礼	和合 亮一著	新潮社	2011	91156/ワリ7
38	私とあなたここに生まれて	和合 亮一著	明石書店	2012	91156/ワリ8
39	昨日ヨリモ優シクナリタイ	和合 亮一著	徳間書店	2016	91156/ワリ9
40	君の心で花は咲く 隣人・被災地の友に送る192の詩	李 承信著	飛鳥新社	2012	92911/イソ2

<戯曲>

41	脚本集3・11 東日本大震災・原発事故を見つめる ★中央図書館所蔵	日本演劇教育連盟編	晩成書房	2014	7757/8
42	ブルーシート	飴屋 法水著	白水社	2014	9126/アノ1
43	戯曲福島三部作	谷 賢一著	而立書房	2019	9126/タケ3

<小説・物語>

44	想像ラジオ	いとう せいこう著	河出書房新社	2013	9136/イセ7
45	貝に続く場所にて	石沢 麻依著	講談社	2021	9136/イマ34
46	神様2011	川上 弘美著	講談社	2011	9136/カヒ67
47	ナインデイズ 岩手県災害対策本部の闘い	河原 れん著	幻冬舎	2014	9136/カレ6
48	イサの氾濫	木村 友祐著	未来社	2016	9136/キユ24
49	いつか、この世界で起こっていたこと	黒川 創著	新潮社	2012	9136/クワ7

50	光の山	玄侑 宗久著	新潮社	2013	9136/ケ9
51	還れぬ家	佐伯 一麦著	新潮社	2013	9136/サカ44
52	希望の地図 3.11から始まる物語	重松 清著	幻冬舎	2012	9136/シキ45
53	新生	瀬名 秀明著	河出書房新社	2014	9136/セヒ9
54	恋する原発	高橋 源一郎著	講談社	2011	9136/タケ23
55	影裏	沼田 真佑著	文藝春秋	2017	9136/ヌシ1
56	海が呑む 3.11東日本大震災までの日本の津波の記憶	花輪 莞爾著	晶文社	2011	9136/ハカ16
57	馬たちよ、それでも光は無垢で	古川 日出男著	新潮社	2011	9136/フヒ34/2
58	光りの海 死者のゆくえ	町田 宗鳳著	法藏館	2014	9136/マヨ2
59	光線	村田 喜代子著	文藝春秋	2012	9136/ムキ19
60	漁師の愛人	森 絵都著	文藝春秋	2013	9136/モエ14
61	JR上野駅公園口	柳 美里著	河出書房新社	2014	9136/ユミ21
62	12の贈り物 東日本大震災支援岩手県在住作家自選短編集	道又 力編	荒蝦夷	2011	91368/197
63	渚にて あの日からの〈みちのく怪談〉	東北怪談同盟編	荒蝦夷	2016	91368/230
64	いわて震災小説2020		いわてアートサポートセンター	2020	91368/242
65	津波、命がけの絆 海嘯生死情	于 強著	泰文堂	2013	9237/ウキ1
66	フクシマ・ゴジラ・ヒロシマ	クリストフ・フィアット著	明石書店	2013	9537/フク1
67	それでも三月は、また	谷川 俊太郎著	講談社	2012	9186/64

<随筆>

68	花の億土へ	石牟礼 道子著	藤原書店	2014	9146/イミ16
69	原発と祈り	内田 樹著	メディアファクトリー	2011	9146/ウタ15
70	3.11死に神に突き飛ばされる	加藤 典洋著	岩波書店	2011	9146/カノ10/2
71	<3.11>はどう語られたか 目白雑録 小さいもの、大きいこと	金井 美恵子著	平凡社	2021	9146/カミ15
72	麦の日記帖 震災のあとさき2010>2018	佐伯 一麦著	プレスアート	2018	9146/サカ6
73	遠来の聲音 随筆と語り	佐々木 俊三著	荒蝦夷	2014	9146/サシ13
74	瓦礫の下から唄が聴こえる 山小屋便り	佐々木 幹郎著	みすず書房	2012	9146/サミ5
75	「あの日」からぼくが考えている「正しさ」について	高橋 源一郎著	河出書房新社	2012	9146/タケ13
76	三陸の海	津村 節子著	講談社	2013	9146/ツセ7
77	瓦礫の中から言葉を わたしの〈死者〉へ	辺見 庸著	NHK出版	2012	9146/ヘヨ10
78	首輪をはずすとき	丸山 健二著	駿河台出版社	2011	9146/マケ5
79	移りゆく社会に抗して 三・一一の世紀に	村上 陽一郎著	青土社	2017	9146/ムヨ8
80	心に湯気をたてて	和合 亮一著	日本経済新聞出版社	2013	9146/ワリ4

81	随想 2011	日本経済新聞社編	日本経済新聞出版社	2012	91468/61/11
----	---------	----------	-----------	------	-------------

<書簡>

82	ゼロエフ	古川 日出男著	講談社	2021	9156/7ヒ1
83	往復書簡 『遠くからの声』『言葉の兆し』	古井 由吉著	講談社	2021	9156/7ヨ4

<記録・手記>

84	あの日のわたし 東日本大震災99人の声	あの日のわたし編集委員会編	創栄出版	2011	916/81
85	3・11に生まれた君へ	「君の椅子」プロジェクト編	北海道新聞社	2014	916/85
86	フクシマからの手紙 3・11後の日本に生きるすべての人へ	市川 恵子著	本の泉社	2011	916/イケ6
87	星降る震災の夜に ある精神科医の震災日誌と断想	岡崎 伸郎著	批評社	2012	916/オノ3
88	祈りの作法	玄侑 宗久著	新潮社	2012	916/ケソ2
89	揺れる大地に立って 東日本大震災の個人的記録	曾野 綾子著	扶桑社	2011	916/ソア2
90	罹災の光景 三陸住民震災日誌	野里 征彦著	本の泉社	2011	916/ノイ1
91	フクシマ／ヒロシマランニング 老俳優の見た東日本大震災被災地	前島 幹雄著	彩流社	2011	916/マミ1
92	負けんな、ヤルキキャンプ	光安 純著	角川書店	2011	916/ミン3
93	フクシマ・ノート 忘れない、災禍の物語	ミカエル・フェリエ著	新評論	2013	956/フミ1

<東日本大震災関係の郷土資料>

94	飯岡漁港・飯岡地区大震災記録 2011.3.11東日本大震災	楠木邦征写真・文		2011	C3693/23
95	被災地あさひ 被災から復旧、そして復興へ	旭市秘書広報課企画・編集	千葉県旭市	2012	C3693/24
96	語りつごう3・11 震災をのり越えて	地域再生協議会災害検証記録化編集委員会編集	地域再生協議会	2013	C3693/27
97	語り継ぐために 東日本大震災体験アンケート報告集	自治労銚子市役所職員労働組合編集	自治労銚子市役所職員労働組合	2013	C3693/39
98	3月11日に家族が体験した津波 場所 旭市下永井地区	宮本 英一著	NPO防災千葉	2015	C3693/46
99	旭市防災資料館 あの時を忘れない		旭市総務課	2020	C3693/52
100	津波はこのように旭の海岸に押し寄せてきました		2011年旭市の津波被害を記録する会	2022	C3693/55
101	海へ 作品集 第1回旭いいおか文芸賞	旭いいおか文芸賞実行委員会 編	光と風(内)高橋順子を囲む会	2017	C986/4/1
102	海へ 作品集 第2回旭いいおか文芸賞	旭いいおか文芸賞実行委員会 編	光と風(内)高橋順子を囲む会	2018	C986/4/2
103	海へ 作品集 第3回旭いいおか文芸賞	旭いいおか文芸賞実行委員会 編	光と風(内)高橋順子を囲む会	2019	C986/4/3
104	海へ 作品集 第4回旭いいおか文芸賞	旭いいおか文芸賞実行委員会 編	光と風(内)高橋順子を囲む会	2020	C986/4/4
105	海へ 作品集 第5回旭いいおか文芸賞	旭いいおか文芸賞実行委員会 編	光と風(内)高橋順子を囲む会	2021	C986/4/5

